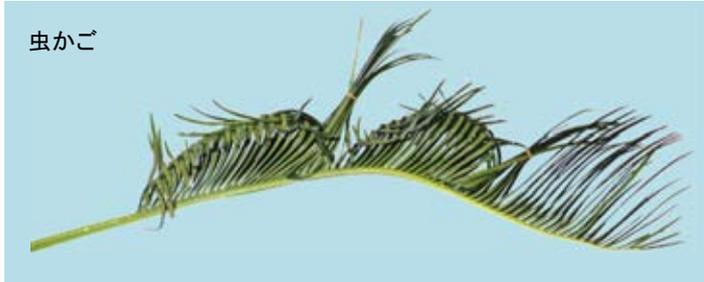


ソテツは海岸の岩場などに自生していますが、庭木や街路樹としてもよく植えられています。昔からいろいろな用途に使われた、沖縄では大切な植物の一つです。昔から飢饉のときに毒抜きをして食料としても利用され、葉は薪の他にいろいろな民具作りに使われました。草玩具の材料としても葉や種子などが使われ、虫かごをはじめいろいろなものが作られてきました。ソテツの葉や種子を使って楽しい工作をしましょう。

●下のオプション①～④から、一つ選んでください。興味とゆとりのある方は、複数のオプションへの挑戦もOKです。



オプション① 虫かご

複葉を使って一連や二連の虫かごを作ります。

●昔からあるソテツの葉で編む虫かごです。ソテツの草玩具の中で一番知られた美しい工作です。

難度は中級です。



オプション② 小葉の首かざりやめがねや虫かご

小葉で輪を作り、それらを鎖のように組み合わせたり、眼鏡のようにつないだりして作る。また、他の葉と組み合わせて虫かごを作ります。

●いずれも、バラバラに外した小葉で作ります。棘に刺されないように気を付けながら工作します。

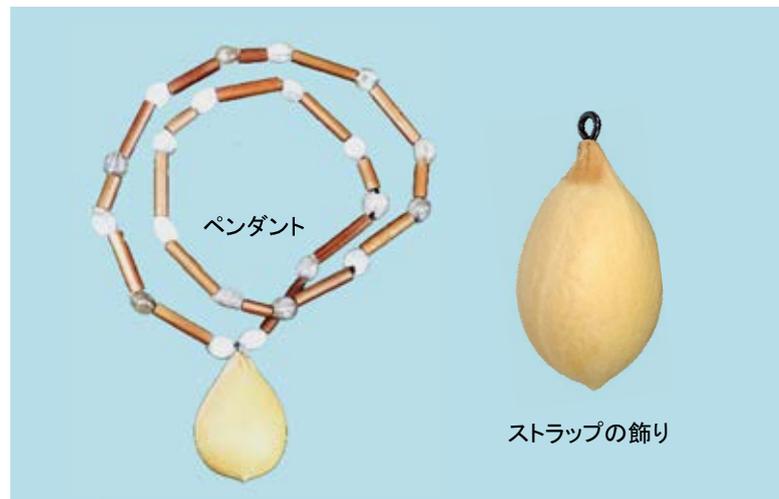
難度は初級から中級です。



オプション③ おもちゃや飾り

ソテツの種子や他の材料と組み合わせて玩具を作ります。

●作り方が容易なもの、ちょっと難しいもの、難しく時間がかかるものなどいろいろです。実際にどれを作るかはその場で選びますが、自分のスキルに合いそうなものを選ぶと、いくつも作れます。難度は初級～上級で、鳳凰は特に難しく時間がかかります。



オプション④ アクセサリー

ソテツの種子でペンダントやストラップを作って使う。ペイントマーカーを使って種子の表面に絵を描いて飾る。

●アダンの種子を加工してヒートンを取り付けます。ジュズダマやコシダの茎で作ったビーズと組み合わせてペンダントを作ります。また、ストラップを付けて使います。

難度は中級です。

担当：西平守孝（沖縄美ら島財団）